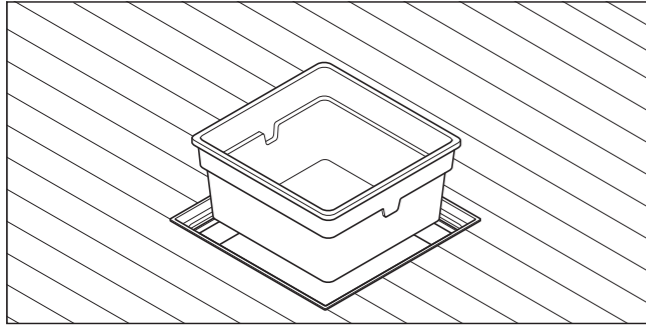
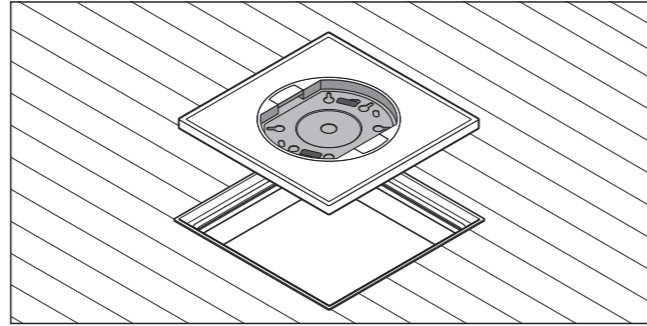


3 蓋を取り付けます

1 収納庫を取り付ける場合は、外枠へセットしてください。

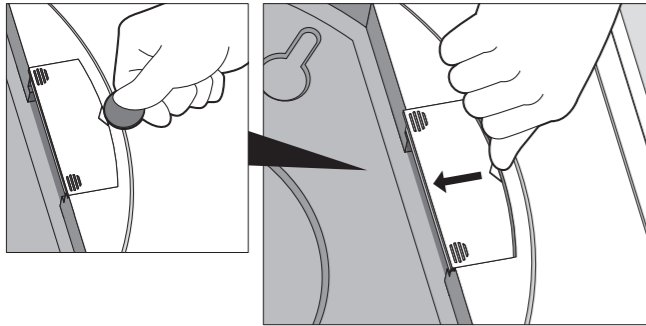


2 蓋を外枠へセットし、開閉に支障がないか、ガタツキがないかを確認してください。

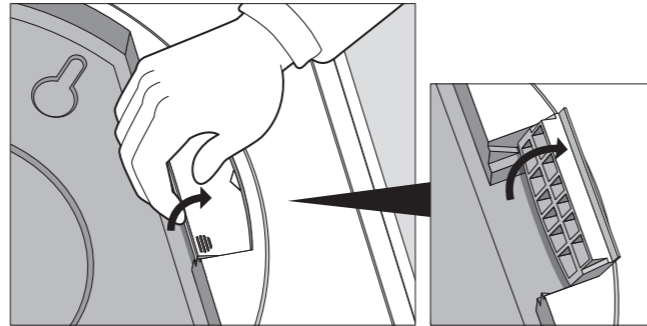


4 体組成計を設置します

1 体組成計取り出し蓋の△部を内側にスライドさせてロックを外す。
※コインなどの使用をおすすめします。



2 浮いた体組成計取り出し蓋の内側をつまんで開ける。

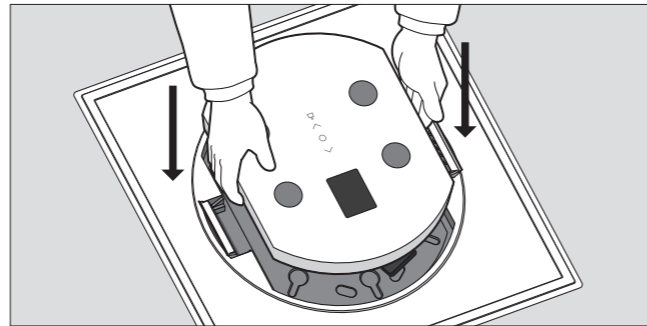


3 体組成計に電池を入れる。
(→「体組成計 取扱説明書 P.10」)
※電池は付属しません。



4 体組成計を設置し、体組成計取り出し蓋を閉じる。

※体組成計取り出し蓋が開いていること、体組成計の設置場所に異物がないことを確認してください。
※閉じる手順は、開ける場合の逆です。
※体組成計を設置する際は、指詰めにご注意してください。



❗ 閉じた後、体組成計取り出し蓋の△部分を上から押し、体組成計取り出し蓋が開かないことを確認してください。

5 施工後の確認

下記の項目について、施工後の確認をしてください。

チェック項目
スライドコアが全て取り付けられ、しっかりキャップがされていますか? 2の4
点検口の蓋の開閉はスムーズですか?
点検口の蓋や体組成計にガタツキはありませんか?
体組成計の取り出し(体組成計取り出し蓋の開閉)はスムーズですか?
外枠がフロア面にすき間なく取り付けられていますか?
保証書へ取り付け日または竣工日の日付と、工務店または工事店様の明記はありますか?

この度は本製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
正しく取り付けいただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。
施工説明書は工事終了後、お施主様にお渡しください。また、この施工説明書は本製品の取扱説明書、体組成計の取扱説明書と一緒に保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

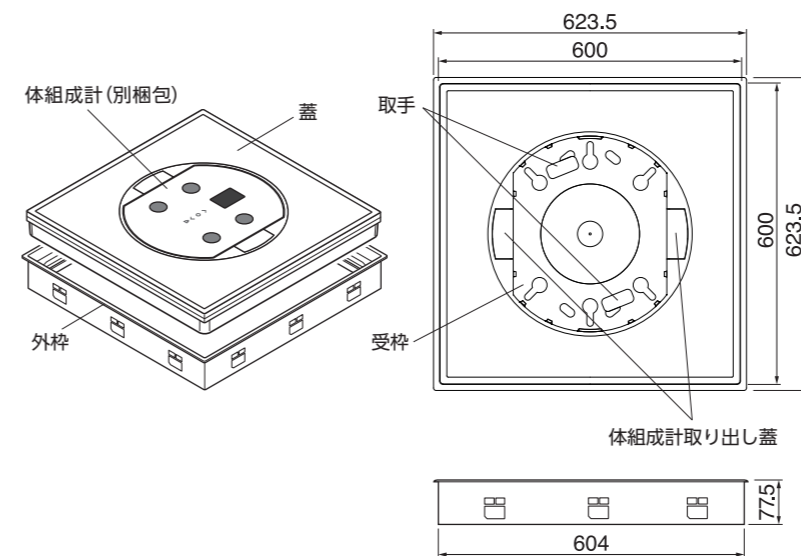
●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

	この記号は、禁止の行為を示しています。		この記号は必ず実行していただく「指示」内容を示しています。
--	---------------------	--	-------------------------------

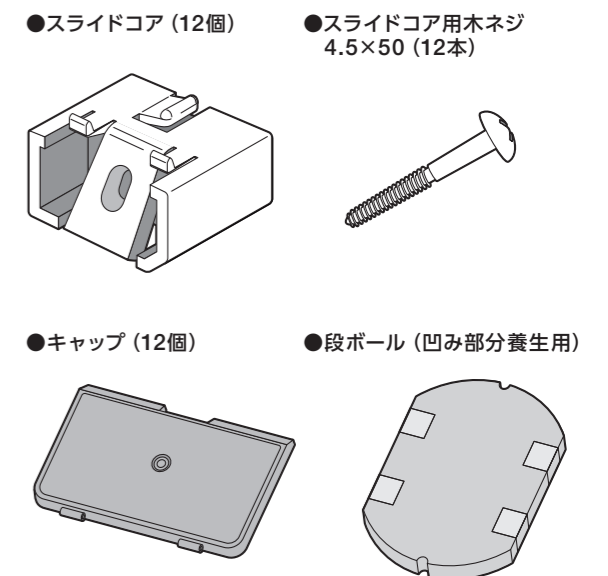
⚠ 注意

	樹脂製ですので、火気や溶剤は使用しないでください。 樹脂製ですので、熱源(投光器など)のそばに置かないでください。 製品に直接水をかけないでください。漏水の原因になります。
	体組成計が設置されるまでの間は、付属の段ボールにて凹み部分の養生をおこなってください。 段差がある状態の場合、ケガや製品の破損に繋がるおそれがあります。 保管は直射日光の当たる場所や高温になる場所を避けてください。変形・破損の原因となります。 収納庫は、収納物の重量によって変形するおそれがありますので、ブロック・レンガ・モルタル(間にビニールシートを入れる)などで収納庫の底部を受けるか、別売品の床下収納庫用補強ステーのご使用をおすすめします。また、2階に収納庫をご使用の場合は、床下収納庫用補強ステーをご使用いただくか、別途安全面を考慮した構造としてください。

製品図 [セット図]



付属品



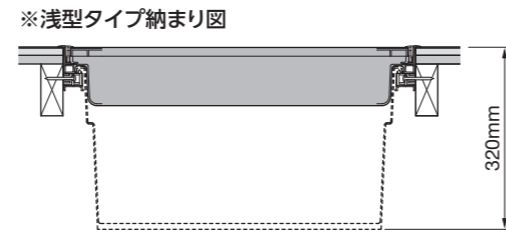
※専用の体組成計は別梱包となります。

施工説明書の見方

この施工説明書は高気密型床下点検口および「収納庫」を掲載しています。下記事項を基に施工寸法に誤りがないようご注意ください。

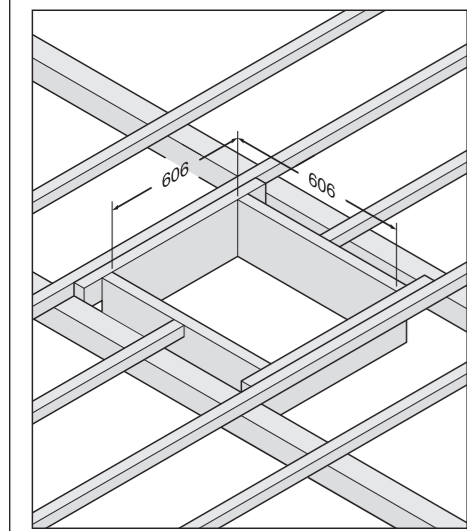
1 施工の前に

- ・気密住宅の場合は、防湿・気密層が切れないようにしてください。
- ・収納庫を使用する場合は、フロア面から土間まで以下の高さが必要です。
 - 収納庫薄型タイプ(SPF-60S1)使用時は190mm以上必要
 - 収納庫浅型タイプ(SPF-60S2)使用時は320mm以上必要
 - 収納庫深型タイプ(SPF-60S3)使用時は480mm以上必要

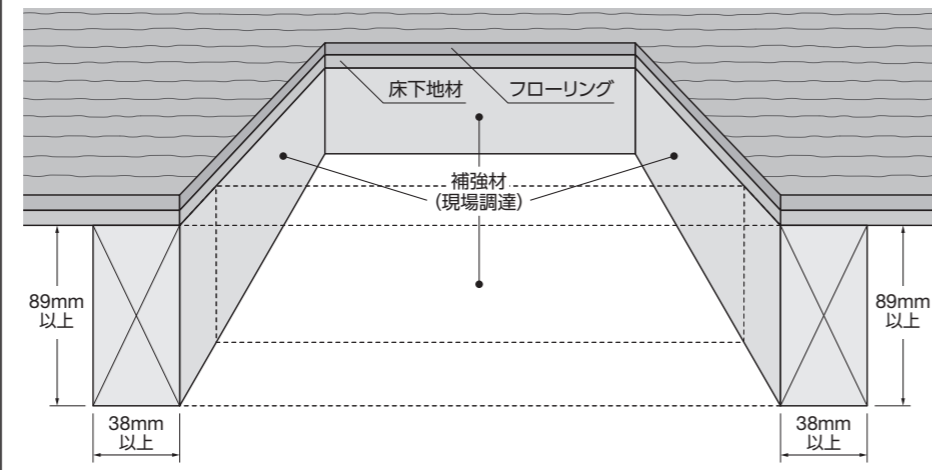


2 下地を作り、床下点検口の外枠を取り付けます (根太、補強材、補助材の構成)

1 606×606mmの開口部が必要です。



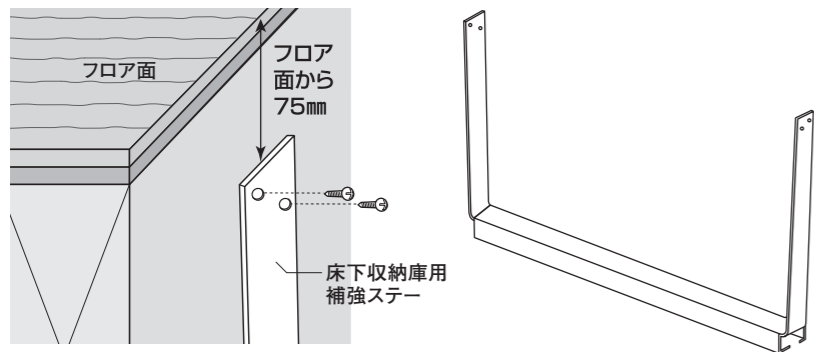
2 幅38mm以上、高さ89mm以上の補強材で四方に下地を組みます。
 ※補強材には乾燥材をご使用ください。
 ※床の開口部が荷重に耐えられるよう、下地組みは十分強度が確保できるように施工してください。



■床下収納庫用補強ステーを別売でご用意しています。

床下収納庫用補強ステーをご使用の場合は**2**完了後、ステーの上端がフロア面から75mmの位置になるように付属のネジ(φ4×16)で補強材(現場調達)に取り付けてください。

※2階に収納庫をご使用の場合は、床下収納庫用補強ステー(別売)をご使用いただくか、別途安全面を考慮した構造としてください。



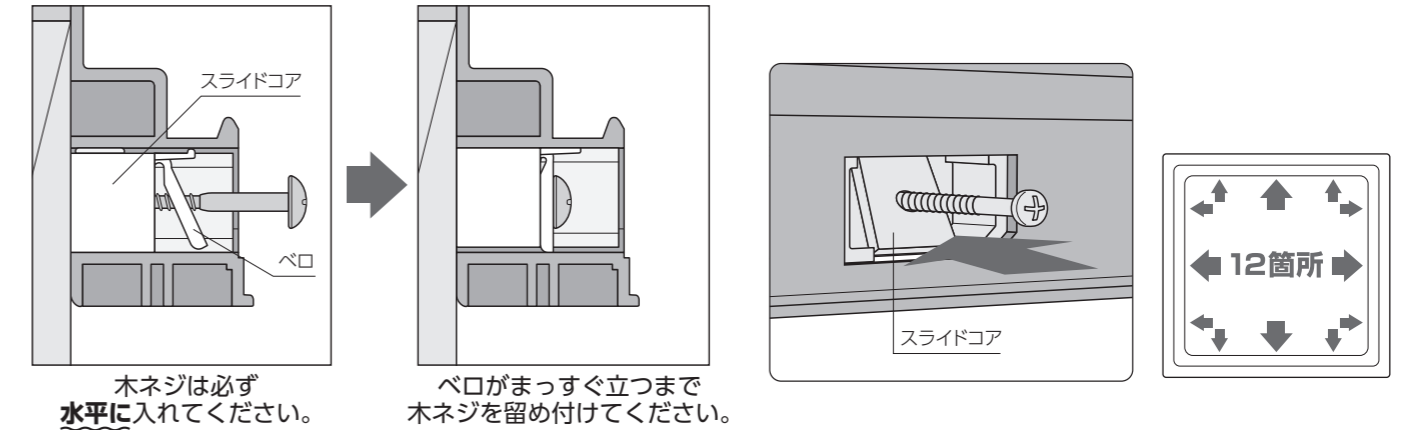
対応収納庫	品番
SPF-60S1	BU-SPF-HS60S1-SV
SPF-60S2	BU-SPF-HS60S2-SV
SPF-60S3	BU-SPF-HS60S3-SV

収納庫の注意点

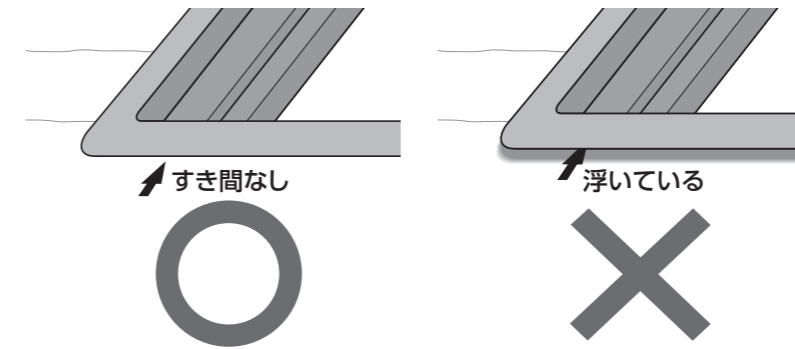
下表の重さ以上ものを入れないでください。また、一点に集中して荷重がかかると変形のおそれがあります。

SPF-60S1	SPF-60S2	SPF-60S3
70kgまで		

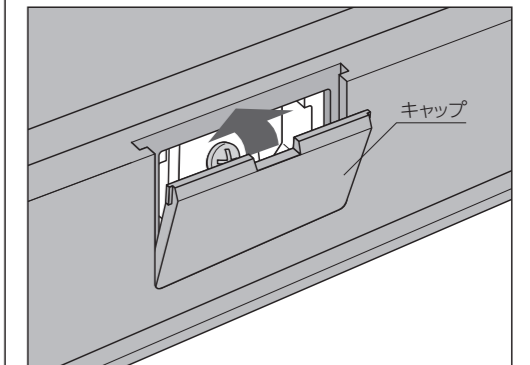
3 **2**に外枠を取り付けます。外枠側面に同梱しているスライドコアを奥まで差し込み、木ネジで補強材(現場調達)に取り付けます。



！注意 スライドコア設置後、外枠とフロア面にすき間がないことを必ず確認してください。すき間があると、外枠が割れたり、気密性を損なう原因となります。



4 **3**で取り付けした外枠に、同梱していますキャップをセットしてください。



※各辺スライドコアの取付位置をずらしてありますので、外枠を回転させればスライドコアの取付位置が変わります。

■スライドコアの取り付けについてのお願い

下記の図の通り、外枠をフロア面に置きフリーハンドでスライドコアを取り付けると(スライドコアは、あらかじめ外枠の奥までしっかりセットしておいてください)スライドコアだけが補強材方向に動き、ベロが外枠の気密材の厚さ分押さえ込みフロア面とピッタリ納まります。スライドコアは、外枠を上から押さえずに、フリーハンドで取り付け頂きますよう、お願いいたします。

※スライドコアは中央部分から留め付けてください。
 ※各辺スライドコアの取付位置をずらしてありますので、外枠を回転させればスライドコアの取付位置が変わります。

